こどもまんなか
こども家庭庁

こどもの居場所づくりの促進のための他領域との連携を踏まえた人材配置に関する調査研究

成育局 成育環境課

人材配置の現状

地域の実情に沿ったこどもの居場所づくりを推進するための「こどもの居場所づくりコーディネーター」は、「こどもの居場所づくりに関する指針※」（令和5年12月閣議決定）において重要な役割を果たす存在として言及されており、その配置の促進は加速化プランにも位置付けられ推進される重要施策であるが、各自治体における人材配置は進んでいない。

調査研究の目的

【こどもの居場所づくりコーディネーターの導入が進まないと考えられる理由】

・自治体おいて必要性が十分に理解されていない

・どのような人材を募集すればよいかわからない

【地域で活躍する多様なコーディネーター】

・こどもの居場所以外の他領域との連携も重要となることから、例えば、**社会教育主事や社会教育士**など、既に地域で活躍している他領域の人材の対応する領域を広げることで、居場所づくりも推進することができる可能性がある。

すでに地域社会で活動している多様なコーディネーター等との連携を踏まえつつ、こどもの居場所づくりの観点から地域社会で活躍する人材の配置を地域で促進し、活躍できる環境を整備するための方策について検討することを目的に、本調査を実施する。

調査の流れ

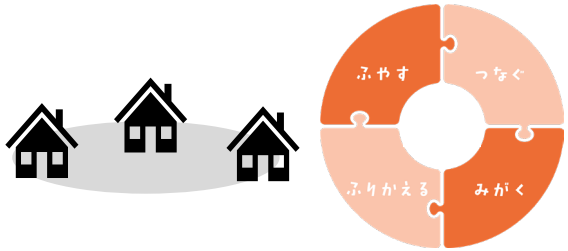
①現状把握
全国の基礎自治体を対象に定量調査

②事例調査
&
③他領域人材調査
定量調査から抽出した自治体を対象に定性調査

※こどもの居場所づくりに関する指針

コーディネーターの役割

地域全体を捉えながら
（i）地域の既存資源の把握やネットワーキング
（ii）利用ニーズの実態把握
（iii）新たに居場所づくりをする人の支援、継続していくためのサポート等



分析の方向性

こどもの居場所づくりを促進する観点から地域で活動する人材（個人・団体の双方を想定）の配置状況等に関する実態を把握し、配置が進まない理由を明らかにする。また、他領域の人材との連携を視野に入れながら、効果的な人材配置のための具体的な方策を提示することを目指す。